

『古文ヤマのヤマ』

〔文法の学習〕

古文において、文法は「単語」、「古文常識」と並ぶ読解のための基礎事項の一つです。
学習に際しては、他の基礎事項と同じように「反復学習」が重要です。

文法の学習は、基本的には生徒各自のペースで進めることになりますが、
この『ヤマのヤマ』のテキストも活用しながら、最低3周以上の学習を行うことを推奨します。

〔テキストの位置づけ〕

文法の「参考書」兼「問題集」として活用します。

〔テキスト活用のタイミング（1周目）〕

古文の学習開始とともにテキストを配布しますので、学習の進捗に合わせて各自で「参考書」として活用して下さい。
また、『スタサプ』と『ベーシック古文』での文法の1周目の学習が終了した後に、
文法の2周目以降の学習内容として「問題集」としても活用を始めます。

〔2周目以降の学習の進め方〕

- (1) 单元ごとの「概要説明ページ」の内容を丁寧に読み取ります。
 - (2) 「概要説明ページ」に対応する、「演習問題ページ」の問題を解きます。
※ (1) と (2) は同日、もしくは翌日に学習を行うようにします。
 - (3) 解答解説を見ながら、演習問題の答え合わせをします。
 - (4) 学習した单元を、翌日見直します。
- ⇒ (1) ～ (4) を繰り返して、单元を進めていきます。

テキストは全44項目ですので、平日5日間で毎日2項目ずつ学習を進めると、
5週間（約1ヵ月）で内容をひと周り学習することができます！

〔テキスト活用の仕方〕

① 概要説明ページ

テキストの内容は、基本的に隅から隅まで丁寧に読み取ります。（全てが大切な情報です！）
その上で、活用表は黙読、もしくは音読で繰り返し唱えて覚えましょう。
「意味」や「接続」、「例文」は用法の理解に欠かせない内容なので注意深く覚えましょう。
加えて、「ヤマを講義」、「もうひとヤマ」は読解の際に大切な内容になるので理解して覚えることを心がけましょう。

② 演習問題ページ

まずは、解答解説を隠して演習問題を解いてみます。
テキストは繰り返し使えるように直接書き込まずに、ノートや裏紙などに解答を書きます。
問題を解いたときに、基本的な知識があやふやであれば、「概要説明ページ」に戻って内容を確認します。

問題を解いた後に、解答解説を自分が納得できるまでしっかりと読み込み、
説明を求められても答えられるように内容の理解を深めていきます。
よく分からなかった問題や間違えた問題には、チェックを付けて次につなげます。

〔学習上の留意点〕

文法の1周目の学習内容（『スタサプ』と『ベーシック古文』）を踏まえての学習内容となるので、
基礎事項を踏まえた上で活用する教材ということになります。
そのため、1周目で学んだことを2周目以降で深めていくとともに、反復学習によってより定着させていけるように意識することが必要になります。